

2011(平成23年)

広
報

びらとり

3

No.603

今、新たな門出を歩み出す



平取中学校卒業式 (3月15日)

今月号は...

- 平成23年度 町政執行方針
- 平成23年度 教育行政執行方針
- 平成23年度 予算概要
- 平成22年度 町民税1%まちづくり事業
- TPP参加を考える
- 町のひろば
- 後期高齢者医療制度について
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

平成23年度

町政執行方針



町長 川上 満

施策に誠心誠意取り組んできました。

今後における町政執行の基本的な考え方は、行財政改革、子育て支援、雇用促進及び高齢者福祉並びに産業振興等の重点施策を中心に据え、第5次総合計画後期5か年実施計画を基軸に施策の展開を図ります。

林業振興対策 施策計画に基づき森林整備事業を実施し、民有林についても所有者の森づくりへの意欲増進のため、施業に係る負担軽減策を講じます。

緊急雇用対策として「ふるさとの森づくり事業」を委託し雇用拡大に努めます。

商工業振興対策 アイヌの伝統工芸を活用した地域特産品開発と地域ブランド化の調査研究をもとに、木彫りやアイヌ文様等を地域資源に捉えた、伝統工芸品販売開拓支援事業を実施します。

観光振興対策 びらとり温泉の改築を図るべく基本設計をもとに、町民からの意見を聴取し、「びらとり」らしい木のぬくもりのある循環型の施設設計を検討します。

また、観光分野における今後の取り組みの指針となるべく、観光振興ビジョンの策定を行います。

雇用対策 地域雇用創出基金を活用して、町臨時職員の採用及び町有林造成事業に係る作業員の雇用経費を予算措置しました。



町有林での枝打ち、枝条巻き作業

また、国のふるさと雇用再生対策事業として、アイヌ文化資源に基づく産業創造事業とアイヌ文化情報データベース化において雇用確保を図ります。

自然と共生し、快適で安全な暮らしづくり

道路・交通機関の整備 町道整備では、荷負本村線改良事業をはじめ、本町公民館線及び荷菜福満線の拡幅事業、荷菜福満線及び本町山沿線の歩道整備事業を実施します。

道道整備における平取静内線貫気別市街地拡幅事業が平成27年度完成予定となりましたので、事業促進に向け関係機関へ要請を行います。

情報通信の整備推進 地上波デジタル放送の完全移行に向け、光ファイバーケーブルを利用した難視聴解消に努めます。

環境保全等の推進 平取町新エネルギービジョンに基づき、温室効果ガスの削減を図るため、びらとり温泉改築時における木質系バイオマスボイラーの導入を検討します。

また、各家庭へのペレットストーブ購入補助金及び太陽光発電システム設置補助金を予算措置しました。

エゾシカによる農林業被害拡大防止のため、平取町鳥獣被害防止対策協議会（仮称）を設置し、被害調査及び防止対策の検討を行っていきます。



ペレットストーブ購入補助

平成23年第3回町議会定例会は、3月3日に招集し、川上町長が町政、斉藤教育長が教育行政のそれぞれ平成23年度執行方針について説明しました。

本紙ではその概要をお知らせしますが、全文は町ホームページに登載していますので、ご覧ください。

私は、町長就任以来、地域のことは地域自らにおいて、住民との協働のもとに町を創り上げることが念頭に、各種

農業振興対策 担い手育成対策は、長期的な担い手確保を視野に入れ、新規参入希望農業研修生を毎年2戸受け入れる体制づくりとして、新たに振内地区で実践農場を整備し研修体制を強化します。

道営中山間地域総合整備事業「平取南地区」は、平成25年度からの事業実施に向け、関係者と協議を重ね、推進を図ります。

住宅・住宅環境の整備

町営住宅については、本町上団地1棟2戸の建設と同団地の敷地造成を行います。住宅リフォーム促進事業を継続実施し、個人住宅の環境整備促進と地域経済の活性化に努めます。

移住定住対策については、総務省の「地域おこし隊」制度を活用して、都市圏からの人材を受け入れ、地域協力を通じて定住・定着を促し、地域力の維持向上に努めます。

沙流川総合開発事業に係る水源地域の推進 平取ダム建設事業が凍結状態にあることは誠に遺憾であります。流域住民の生命と財産を守るため、事業の継続と早期完成を、今後も力強く訴えていきます。



沙流川総合開発事業検討の場

生涯を通じて生きがいと元気にあふれるまちづくり

健康づくりの推進・医療機関の充実 町民が健康ではつらつと、主体的に健康づくりの取り組みができるよう、食事及び運動等の学習活動を支援します。また、「平取町食育推進計画」に基づき、各種食育事業を推進します。

国保病院の運営については、現在、病院事業改善プランに基づき、収支黒字化に取り組んでいます。しかし、道厚生局の個別指導による診療報酬の返還金が生じたことなどにより、計画達成は困難な状況となつていますので、再度計画の見直しを行い、早期に収支の黒字化が図られるよう努めます。

また、長期展望に立った医療業務の合理化を目的とした院外処方の開設については、町民の理解が得られるための懇切丁寧な説明を行い、本年度の早い時期に実施できるように進めていきます。

子育て支援対策 子どもは、地域における財産ですので、発達段階に応じて、保育所・

学校、地域社会が一体となつた、子育て環境を整えるため積極的に支援します。

子宮頸がん、ヒブ及び小児用肺炎球菌ワクチン接種を全額公費とすることで予算措置しましたが、保護者への十分な説明と医療機関との連携に努めます。

高齢者福祉対策 デイサービス事業は、現状の施設において、規模及び機能性等から利用希望者全員を受け入れることができない状況にありますので、利用者の利便性向上のため、平成24年度に施設の移転改修を計画することで、調査設計費を予算措置しました。

アイヌ福祉対策 平取町アイヌ文化振興基本計画を指針として、総合的政策を引き続き検討し、アイヌ文化振興実施計画の策定を目指します。

歴史風土や文化を愛する

心豊かなまちづくり

伝統文化の保存伝承 イオル再生事業は、これまで整備された、コタンの再現地、イオルの森及び水辺空間を伝承

活動の基盤として、引き続き、伝統文化の保存伝承活動事業を実施します。



イオル再生事業での雑穀栽培

人と人とのつながりを大切にし、魅力的で個性あふれるまちづくり

町民自治活動・まちづくり運動の推進 町民税1%のまちづくり事業は2年が経過し、各団体においてユニークな事業が計画実施され、共に創るまちづくりに相応しいものとなつていきますので、引き続き、アイデアを重ねた事業申請を期待しています。

行財政改革の推進・財政の健全化 第3次行財政改革大綱は、本年度をもって計画期間満了となりますので、行革推進事項を改めて検証し、次

期計画策定に向け検討します。財政健全化法に基づく健全化判断4指標に配意し、行政と町民が果たす役割を明確にして、協働のまちづくりに努めます。

以上が平成23年度町政執行に臨む方針の一端であります。先人が築き上げてきたわがまち平取を次世代により魅力的なふるさととして引き続きのために、今できることを的確に成し遂げなければなりません。

日頃から、平取町自治基本条例に基づく、協働のまちづくりの理念のもとに、町民各位そして町内各団体等における活発かつ有意義な活動は、町行政の絶大な支えとなっておりますので、今後においても、各々の主体性を尊重しながら必要とされる支援を惜しむことなく行つてまいります。

また、総合計画のテーマである「輝くびらとり未来になごう」を確実に受け止め、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう、各種事業を積極的に推進します。

平成23年度教育行政執行方針



教育長 齊藤 憲章

学校教育の推進

「確かな学力」の育成には、基礎・基本の定着と、それを活用した思考力・読解力・表現力を向上させる取り組みを進めます。また、前年度に引き続き全国学力・学習状況調査を、全ての学校で調査し、明らかになる課題の改善に向け各学校で改善プランを作成し、指導の強化を図ります。

学校統合については、荷負小学校が閉校したことから4月より荷負地区の児童生徒をスクールバスにて、貫気別小・中学校に送迎することになります。

今日の教育を取り巻く環境は、経済状況の悪化や政治経済の激しい変化の中で、子どもたちの学ぶ意欲や学力・体力の低下、家庭・地域の教育力の低下などが課題となっておりますが、学力調査結果の改善と巡回指導教員の導入、町独自の教員採用、部活動等の充実に努めるとともに、関係団体等や家庭・学校・地域の連携により、教育行政の推進に取り組めます。

生涯学習の推進

町民の生涯学習を、効果的かつ横断的に推進するための情報提供や学習機会の確保に努め、学習の成果を地域社会に活かすことができる環境づくりに努めます。

貫気別中学校の統合については、平成24年度より平取中学校に統合することで保護者、地域と合意をしておりますので、必要な条件を整備します。振内中学校の統合については、各地域、振内地区学校統合検討委員会と今後也十分協議を重ねながら理解を得て、早期に学校統合が実現できるよう努めます。

社会教育の推進

町民が趣味や文化、スポーツ、ボランティア等を通じて生きがいを実感するとともに、地域づくりに積極的に参加できるよう、学習機会の提供に努めます。

さらに、近年、家庭の教育力低下や地域全体で子どもを支え育てる意識の低下が問題視される中、地域住民等の参画による「放課後子ども教室事業」や各種体験学習を通じて地域の人材を活用し、地域全体で未来を担う人材を育てる意識の向上を図ります。

また、健康づくりや子どもの体力の向上を図るため、生涯スポーツ活動を推進するとともに、豊かな感性を育てる芸術文化活動を支援し、地域



貫気別中学校「トレジャータイム」

に根ざした特色ある文化の創造に努めます。そして、育児をする親とその子どもを対象とした「子育て講座」、地域の文化団体との連携による「子ども公民館講座」、優れた芸術や音楽を間近で鑑賞できる「子ども芸術劇場」などを引き続き開催します。

成人・女性教育は、自主的なサークル活動への支援と様々な講座の開設に取り組み、町民が積極的に参画するよう努めます。

高齢者教育については、培ってきた知識と経験を次世代へ伝えるため学習交流の機会を提供し、生きがいづくりと社会参加の促進を図り、高齢者大学自治会活動や老人クラブ活動を支援します。



子育て講座「親子のハッピータイム」

アイヌ文化

二風谷アイヌ文化博物館を拠点として、常設展示の充実及び収蔵資料や図書資料等の有効利用を図られるよう活動を推進します。また、チセ群やアイヌ文化情報センターを活用した体験学習を通して、アイヌ文化への理解を図ります。



チセノミ（博物館2号チセ）

文化財保護

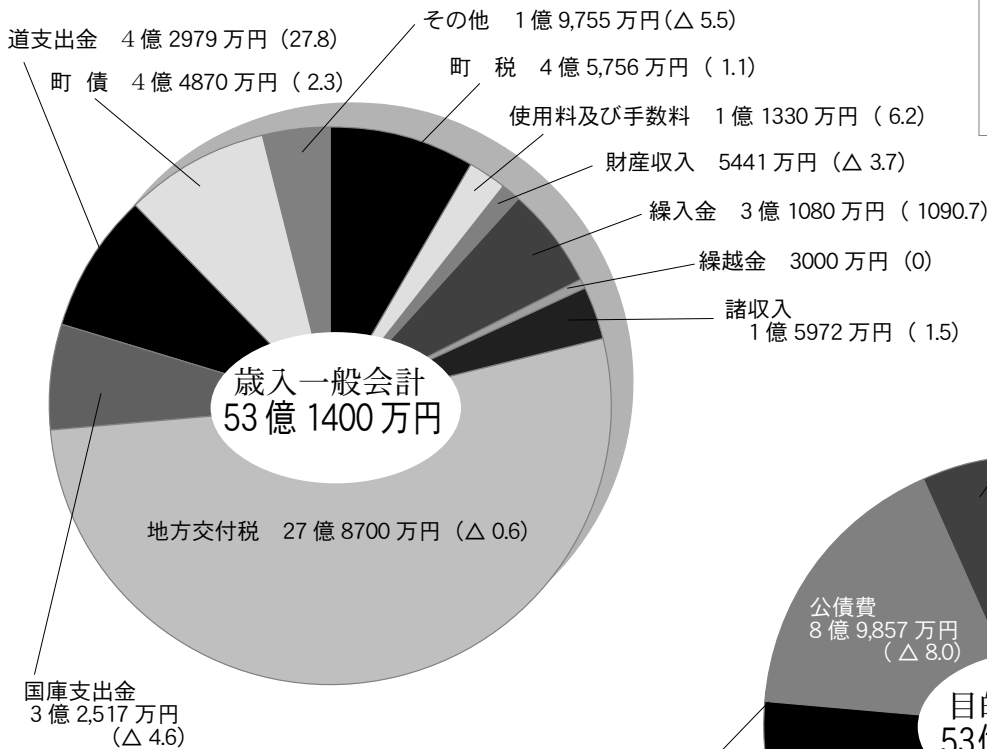
埋蔵文化財については、町民一人ひとりが地域の文化財を保護する必要性について広く周知し、文化財保護の普及啓発に努めます。

沙流川歴史館事業として、特別展及び企画展の開催と町内を巡回する移動展を計画し、平取町をより深く知ってもらうための歴史館講座を開催します。

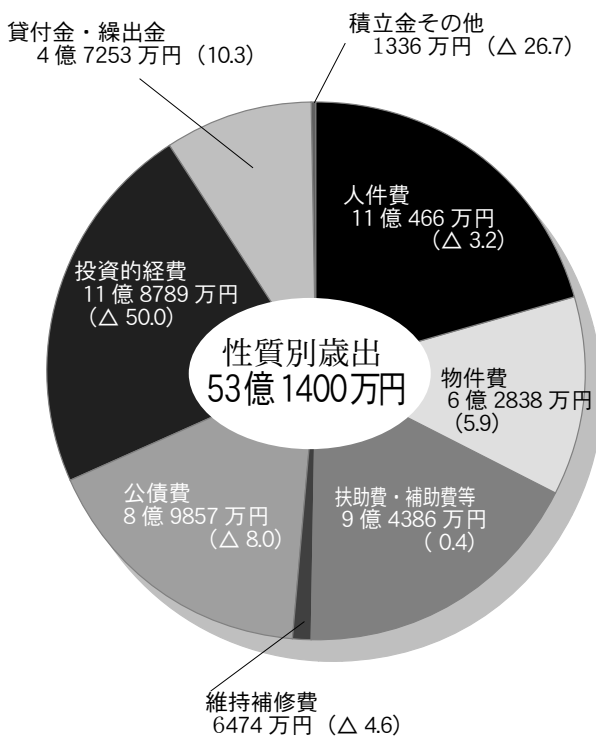
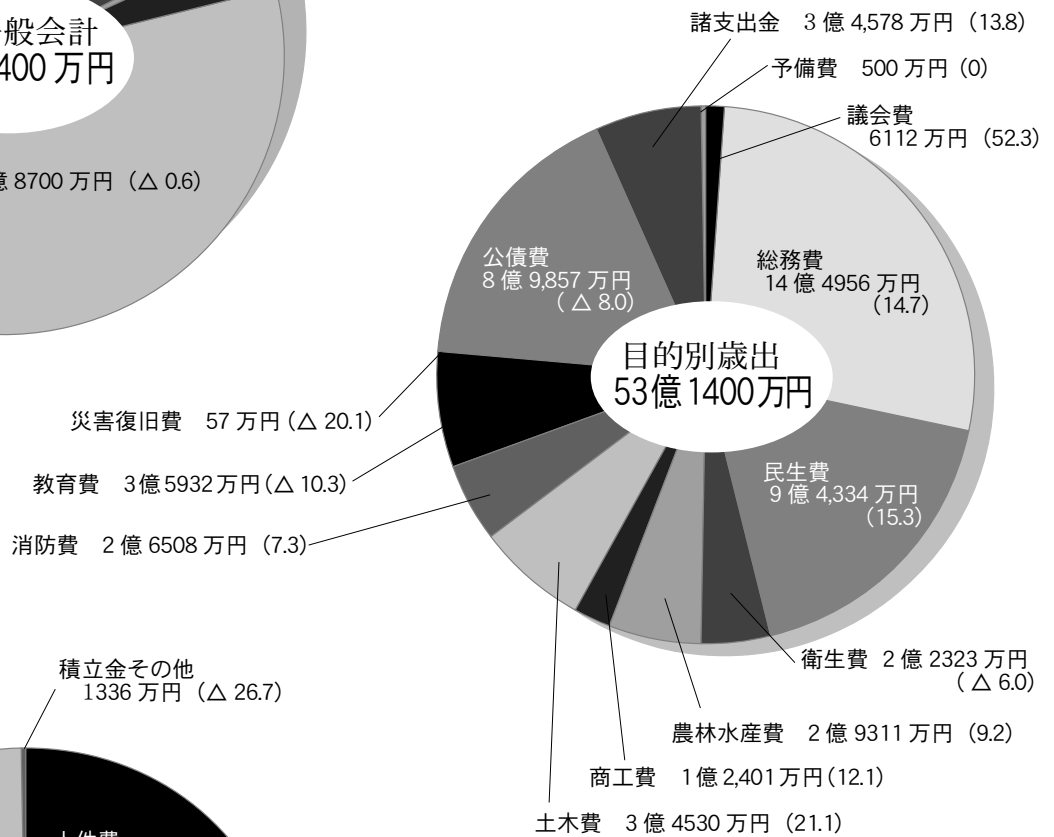
平成23年度 予算概要

【() 内は22年度比 単位 %】

23年度の町予算が議決されました。総合計画実施計画・収支計画を基本として編成した各会計予算は、一般会計が総額53億1400万円（前年度比7.2%の増）、特別会計は総額22億5817万円（前年度比1.4%の減）となっています。本誌では一般会計についてお知らせします。



別途、主要事業内容などを記載した予算概要書(簡易版)を戸別配布します。



基金(貯金)残高の見込み		
	23年度末	町民一人当たり
一般会計	20億2281万円	35万9千円
特別会計	1億1154万円	2万円
合計	21億3435万円	37万9千円
町債(借金)残高の見込み		
	23年度末	町民一人当たり
一般会計	62億5130万円	111万1千円
特別会計	11億8465万円	21万円
合計	74億3595万円	132万1千円

※町民一人当たりの額は、平成23年2月末現在人口5,629人で算出しています。

平成 22 年度

町民税 1% まちづくり事業

住民が主体となり、創意工夫のもと、活力あるまちづくりを実施

昨年紹介しました「まちづくり活動」として、採択された9つの事業の成果報告をお知らせします。

I. 日本ハムファイターズフィールドクラブ

【日本ハムファイターズ平取後援会】

日本ハムファイターズのOB選手による少年野球教室を開催し、町内の子どもたちに野球を通して、自分の目標に向かう姿勢、人との触れ合いの大切さを育成することができました。

II. 炭窯プロジェクト事業

【炭焼きし隊】

炭窯を作り、炭焼き経験者を招き、講習・技術の習得を展開。間伐材などを炭材とし、炭の提供も行うことにより、地域の循環型社会への意識定着に繋がる活動を行うことができました。

III. アイヌ文化の理解と啓発事業

【北海道アイヌ協会平取支部青年女性部】

「チッサンケ」の前夜祭に「アイヌ・アート・プロジェクト」を招聘し、アイヌ文化を基調とした音楽芸能で、200人以上の来場者と共に踊るなど賑わいを見せ、町内外に、アイヌ文化への理解・啓発に大きなPR効果を得ることができました。

IV. 一人暮らしの高齢者に愛の手を!!

【ボランティアサークル愛】

ふれあい広場への参加や、本町地区の一人暮らしの高齢者に年末用お餅宅配と、声かけなどを展開し、介護予防への活性化にも繋がる活動を行うことができました。



V. 振内地区への新規就農者受入事業

【ふれない就農者受入協議会ネオフロンティア】

振内地区へ就農希望者を受入れ、びらとり野菜の栽培指導と実習、広報活動を行う中で、町外へびらとりの魅力を発信し、新規就農者へ働きかける活動を行うことができました。

VI. 高齢者による休憩所建設

【小平老人クラブみどり会】

子供やゲートボール愛好者など、たくさんの人が利用できる休憩所を、高齢者が手作りで製作することにより、地域の連帯感を高め、高齢者の技能活用に繋がる活動を行うことができました。

VII. 食と文化びらとりPRプロジェクト

【かえーる CLUB】

町内外で2つのイベント、フォーラムを通じ、平取の食と文化の魅力を発信。平取のファン・リピーターの増加が図られた。また、ブログを活用した事業展開により、さまざまな人脈のネットワーク構築がなされ、まちの活性化に繋がる活動を行うことができました。



VIII. ジャズフュージョン「平取ライブ!!」

【平取ジャズフュージョンクラブ】

道外をはじめ町外の客層が平取町に訪れ、参加者、ミュージシャンも平取町に好感を持っていた。

町内の方にも、音楽の楽しさ、凄さが伝わっており、音楽を通して、まちの活性化に繋がる活動を行うことができました。

IX. びらとりホテル再生事業

【びらとりホテルの会】

神秘的な光を放つ「ほたる」の育成・放流とPR活動を行い、びらとりの清流を活用した事業を展開。ほたるの普及啓発、自然愛の育成に繋がる活動を行うことができました。

平取町の農業が危ない！

TPP参加を考える

TPPとは、「環太平洋連携協定」の略称。簡単に説明すると、太平洋周辺の広い地域の国、例えば日本、中国、東南アジア諸国、オセアニア諸国、アメリカなどが参加して、自由貿易圏を作ろうという構想ですが、物品の貿易だけではなく、サービス貿易や知的財産、人の移動などさまざまな協力や幅広い分野での連携のことです。

2006年5月にチリ、シンガポール、ニュージーランド、ブルネイの4カ国で発効したのが始まりで、その後、アメリカ、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアが参加の意思を表明し、現在は9カ国が交渉に参加しています。物品の貿易については、関税の即時撤廃か、10年以内の段階的な撤廃が原則とされています。

昨年10月、菅政権は「わが国もTPPへの参加を検討する」と表明しました。政府は早々、日本が参加した場合、どの程度の影響がでるか試算。内閣府、農林水産省、経済産業省の3省が試算を出しましたが、それらの結果はバラバラで、どれが正しいかわから

なくなっています。

経済産業省の試算は、日本がTPPに参加した方が利益になると結論を出しています。一方、農林水産省は非常に大きなマイナスになると述べ、試算では、日本が加盟すると他国からの安い農産物が大量に輸入されるため、農家の多くが農業をやめてしまい、食糧自給率も現在の40%から14%にまで下がると予想しています。

TPP参加による

北海道及び平取町への影響
日本がTPPに参加すると、基幹産業が農業である平取町にも大きな影響が出てくることは間違いありません。仮に関税撤廃の条件において締結された場合に、予想される北海道及び平取町の農業への影響額は次のとおり試算され、平取町への影響合計額は15億5672万円となります。みなさんは、この問題をどう考えますか。



対象品目 試算の前提	産出額		損失割合	影響試算額
	北海道は平成20年度農業産出額 平取町は平成21年度販売額			
米 外国産は価格が安いことから国内生産量は9割削減	北海道	1255億円	△90%	△1130億円
	平取町	5億3493万円		△4億8143万円
小麦 外国産は価格が安いことから国内生産量は壊滅	北海道	418億円	△100%	△418億円
	平取町	111万円		△111万円
酪農 飲用等向け以外は、品質面で優位性がないことから生産が大幅減少	北海道	3502億円	△72%	△2536億円
	平取町	6億199万円		△4億3343万円
肉用牛 乳用種牛肉は価格差が大きいことから壊滅、和牛等も価格が下落	北海道	587億円	△82%	△483億円
	平取町	6億4771万円		△5億3112万円
豚 外国産と価格差が大きいことから生産が壊滅	北海道	344億円	△100%	△344億円
	平取町	1億963万円		△1億963万円

※北海道の影響額は北海道農政部試算による。

平取町の影響額は北海道試算影響額を置き換えたもの。

HTのひろば

アイスクャンドルで、冬を演出

第9回 義経雪あかり (2/5)

商工会主催の「義経雪あかり」が、ふれあいセンターびらとりをメイン会場に開催されました。

今年は、アイスクャンドル約700個、平取小学校の児童が描いた『あんどん』約150個が、本町市街地を柔らかな光で包み、来場者を幻想的な世界へ導きました。

会場では氷の彫刻コンテストが行われ、子どもたちは真剣にノミを握り、大きな氷の塊と格闘しながら、馬やすすらんの形に仕上げていきました。

最後に子どもたちを対象としたビンゴ大会も開かれ、賑やかな冬のイベントが終わりました。



おめでとう!! アイヌ文化賞受賞

二風谷 萱野れい子さん (2/5)

アイヌの風習や口承文化などを受け継いでいる貴重な伝承者であり、生活の様々なアイヌ文化に精通した存在として高く評価されている萱野さんにアイヌ文化振興・研究推進機構より、最高位である「アイヌ文化賞」が贈られました。

この日は、民族文化への貢献をたたえ、150名余の関係者や地元の人が集まり、受賞祝賀会が盛大に行われました。

雪原で燃えろ! PKバトル

第15回全道PKグランプリ (2/6)

全道PKグランプリが、二風谷ファミリーランドで開催され、全道各地から、小学生をはじめ、サッカーチーム、職場の同僚といった様々なメンバーが集まり、今年も熱い戦いを繰り広げました。

参加したのは、93チーム、約800名。普段はサッカー自慢の選手たちも、雪の上では上手いかず、ボールを蹴り損ねる場面もしばしばで、観客からも笑いが漏れていました。

お昼は、びらとり和牛の焼肉に舌鼓を打ち、参加チーム同士の交流もあり、和気あいあいとした雰囲気の大会となりました。





豪快で、きれいなショットを放つ金村さん

オリンピックの技術を学ぶ

カーリング講習会 (2/8)

元チーム青森のメンバーで、トリノ、バンクーバー冬季五輪に出場した金村（旧姓：目黒）萌絵さんを招き、平取カーリング協会が講習会を開催しました。

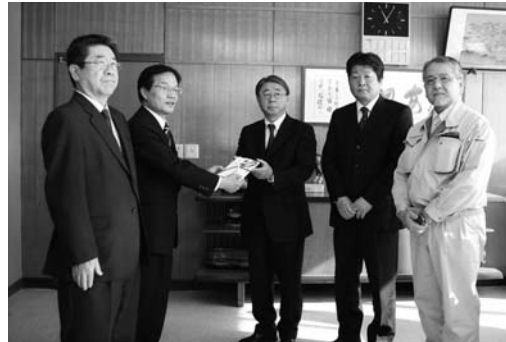
参加者約 50 名は、カーリングの心得やマナー、基本的な戦術について講演を聞いた後、実技指導を受けました。丁寧なアドバイスや、実際に目する見事なショットに、参加者全員、熱心に魅入っていました。

最後は、気軽にサインや撮影に応じ、「もしも復帰し、平取のチームと戦うことがあればうれしい」と話してくれました。



まちづくり事業へ

札幌市 田中 幹大 さま



子供育成事業へ

平取建設協会 さま

◆ご寄付ありがとうございます



平成 22 年 国勢調査 集計速報

～町の人口が 5 年で 9.3% 減少～

平成 22 年 10 月 1 日に皆さまにご回答いただきました国勢調査の速報値を 総務省統計局が公表しましたので、お知らせします。

(なお、ここで公表する数字は、後日、総務省が公表する確定値と異なる場合がありますのでご承知ください)

平取町	平成 22 年	平成 17 年	増減率
人 口	5,597 人	6,173 人	▲ 9.3%
世帯数	2,414 世帯	2,571 世帯	▲ 6.1%
1 世帯人員	2.32 人	2.40 人	▲ 3.3%



調査の結果は今後、総務省統計局からより詳しい統計が公表され、子育て支援や高齢者の介護・医療、雇用対策、地域の活性化など様々な分野に生かされます。

後期高齢者医療制度について

平成 20 年 4 月から始まりました『後期高齢者医療制度』も、まもなく 4 年目を迎えようとしています。この間、様々な点を改正しながら運営をしてきましたが、制度も安定してきたところで、今回は、より理解を深めてもらえるよう改めて要点をまとめましたので、ぜひ参考にしてください。

■対象者について

○ 75 歳以上の方…

75 歳の誕生日から加入します。誕生月の 1 週間ほど前にご案内をしますので、誕生日の 3 日前から手続きができます。

○ 65 歳～ 74 歳で一定の障がいのある方…

申請をし認定を受けた日から加入。既に重度医療の受給資格をお持ちの方には、65 歳の誕生月 1 週間ほど前にご案内をしますので、誕生日の 3 日前から手続きができます。

■保険料のしくみ

○平成 22・23 年度の保険料率

後期高齢者医療制度では 2 年ごとに保険料率を決めており、平成 22・23 年度は次のとおりです。

$$\begin{array}{c} \text{均等割} \\ 44,192 \text{ 円} \end{array} + \begin{array}{c} \text{所得割} \\ (\text{前年所得}-33 \text{ 万円}) \times 10.28\% \end{array} = \begin{array}{c} \text{1 年間の保険料} \\ (\text{限度額 } 50 \text{ 万円}) \end{array}$$

○所得が低い方は保険料が軽減されています（平成 22 年度の場合）

- 均等割の軽減…被保険者と世帯主（被保険者以外も含む）の所得の合計で判定します。

所得が次の金額以下の世帯	平成 22 年度の均等割
33 万円かつ被保険者全員が、年金収入 80 万円以下で所得が 0 円	9 割軽減 4,400 円
33 万円	8.5 割軽減 6,628 円
33 万円 + (24 万 5 千円 × 世帯主以外の被保険者数)	5 割軽減 22,096 円
33 万円 + (35 万円 × 世帯の被保険者数)	2 割軽減 35,353 円

- 所得割の軽減…加入者個人の所得で判定します。

所得が次の金額以下の方	平成 22 年度の所得割
所得から 33 万円を引いた額が 58 万円以下の方	5 割軽減

- 被用者保険の被扶養者だった方の軽減

後期高齢者医療制度に加入する前、被用者保険の被扶養者だった方は、均等割が 9 割、所得割が全額軽減されています。⇒ 1 年間の保険料 4,400 円

○保険料の納め方について

保険料の納め方には、年金から保険料が引落される『特別徴収』と、口座振替や窓口で直接納付をする『普通徴収』があります。

現在、年金から引落しされている『特別徴収』の方については、『口座振替』を選択することもできます。変更を希望される場合は、申請が必要です。

●保険料は税金の控除の対象になります●

保険料は、所得税や個人住民税の社会保険料控除の対象となります。「年金引落し」によって納めている場合は、本人のみの控除対象となりますが、口座振替によって支払った場合は、本人以外のご家族の控除対象とすることもできます。

※保険料の納め忘れによる未納が長期に渡り続きますと、保険証が交付されないなどの不利益が生じる恐れがあります。もう一度、納付状況につきましてご確認下さいますようお願いいたします。

■保険料の減免及び一部負担金の免除について

災害などで重大な被害を受けたときや、その他の特別な事情で生活が著しく困窮し保険料を納めることが困難な方、離職により保険料を納めることが困難になった場合などについては、申請をして認められると保険料が減免となる場合があります。

また、医療機関での窓口負担（一部負担金）についても広域連合の決定した額が減額または、免除となる制度があります。



■高額療養費支給申請について

後期高齢者医療制度では、一度口座の申請をしていただくと、以降生じた高額療養費が自動的に届けていただいた口座へ支給されます。高額療養費が発生していて口座の届けがない場合は、北海道後期高齢者医療広域連合より、申請のご案内が送付されますので同封の返信用封筒にて、郵送して下さい。

■医療費の負担について

次のような場合で、医療費をいったん全額お支払いいただいたとき、市町村の窓口へ申請をして認定されると、本来の医療費自己負担分（1割または3割）以外が療養費として支給されます。

- ①ギプスやコルセットなど治療用補装具を購入した時
- ②やむを得ず保険証を提示できずに診療を受けた時
- ③医師が必要と認めたあんま・はり・きゅう・マッサージを受けた時
- ④海外で診療を受けた時

■『高額医療・高額介護合算療養費制度』について

平成21年8月から、同じ世帯の加入者（被保険者）の方全員が、1年間に支払われた医療保険と介護保険の自己負担額の合計が一定の基準額を超えたときは、その超えた金額が「高額医療・高額介護合算療養費」として支給されます。

支給の対象となる被保険者の皆さまには、お知らせをしますので該当した場合は申請をしてください。

■交通事故などにあつたとき

交通事故など第三者（加害者）の行為によってけがや病気をした時、本来、医療費は加害者が全額負担するのが原則ですが、損害賠償の都合などにより保険証を使って治療することができます。

かかった医療費は、後期高齢者医療が一時的に立て替え、後で加害者に請求することになります。

- まずは警察に連絡しましょう
必ず警察に連絡し、人身事故として『事故証明書』を出してもらいましょう。
- 必ず市町村の窓口にも申請しましょう
保険証、加入者（被保険者）の印鑑、『事故証明書』をもって、「第三者行為による被害届」の申請をしてください。

問合せ先	申請先
町民課後期高齢医療係 (ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111)	町民課後期高齢医療係 または、振内支所・貫気別支所

教育委員会からのお知らせ

荷負小学校閉校式

107年の歴史が今ここに… 2月6日(日)

明治36年に幌去簡易教育所として開校されて以来、1057名の卒業生を送り出してきた荷負小学校で、200名を超す卒業生、地域の方々等が参列し、閉校式が執り行われました。

全校生徒7名は、全員でお別れの言葉を述べ、最後に「故郷」を合唱。その歌声は、参列者に更なる惜別の思いを誘ったようです。

閉校されても、荷負富士を眺めながら学んだ思い出は、永遠に生き続け、心の支えとなることでしょう。



7人全員でお別れの言葉を述べる荷負小児童

学校の沿革

1903年 4月	幌去簡易教育所設立
1903年 9月	荷負簡易教育所と改称
1908年 9月	道立荷負尋常小学校認可
1909年 3月	荷負尋常小学校校舎落成
1909年 10月	第1回開校式を行う(児童数43名)
1917年 9月	村立第一荷負尋常小学校設置認可 校舎新築 荷負尋常小学校と併立
1941年 3月	小学校令改正に伴い「荷負国民学校」と改称
1947年 4月	「荷負小学校」と改称 貫気別中学校荷負分校併設
1950年 2月	分離独立して荷負中学校となり小学校に併置
1953年 1月	小学校校舎新築
1971年 8月	荷負中学校廃校となる (貫気別中学校に併合)
1988年 11月	新校舎新築第二期工事新体育館完成
2003年 10月	開校100周年記念式典・祝賀会
2011年 3月	貫気別小学校との統合により閉校

生きる力を育む読書活動の取り組み ～平取小学校～

子どもの言語能力や感性を磨き、表現力を高め、人生をより深く生きる力を身につけていく上で読書活動が欠くことのできないものであるということから、本校では昨年度期間を設定して行っていた朝読書の取り組みを、今年度は年間通して取り組むため、登校時間を10分早くしました。

読書習慣の定着は短い期間ではなかなか難しいのですが、長い期間積み重ねることで目に見えて実感でき、それがまた意欲につながっていきます。読書活動に使う本は、図書室の本だけでなく、町立図書館にご協力いただき、各学年のレベルを考えながら、それぞれ50冊程度学期ごとに貸し出しをしていただいています。朝の短時間ですが、児童は積極的に取り組んでいます。

また、読み聞かせサークル「たまたまぼこ」のご協力をいただき、月に2回、20分休みに読み聞かせを行っていただいています。今年度は校舎改修工事があり、色々な部屋を移動しながらの活動でしたが、低学年を中心によく聞きに来ていました。

この活動に加えて学期ごとに、学年に応じた色々なプログラムを用意してもらって、1時間ずつ各学年での読み聞かせの授業も行っています。普通の絵本だけでなく、布絵本や朗読・音楽等々わずか1時間ですが、児童の興味を引く活動にあふれています。6年生にとっては、小学校生活で初の読み聞かせ授業でしたが、みんな真剣に、そして楽しみながら聞いていました。

ご協力いただいた関係者の皆様にこの場を借りて心からお礼を申し上げます。この読書活動、来年度も引き続き取り組んでいきたいと考えています。



雪解けが待ち遠しいですね ～成人文化講座「ノルディックウォーキングに挑戦」～

振内町民センター・振内青少年会館 2月7日（月）



年齢問わずに楽しめるスポーツとして話題のノルディックウォーキング講座を実施しました。講師の妹尾巨知さんから、ポールを使うことで全身運動になること、2本のポールで体を支えることにより姿勢が良くなり、体への負担を軽減できることなどを学んだあと、競技場に移動し実際にポールを使った歩き方を学びました。

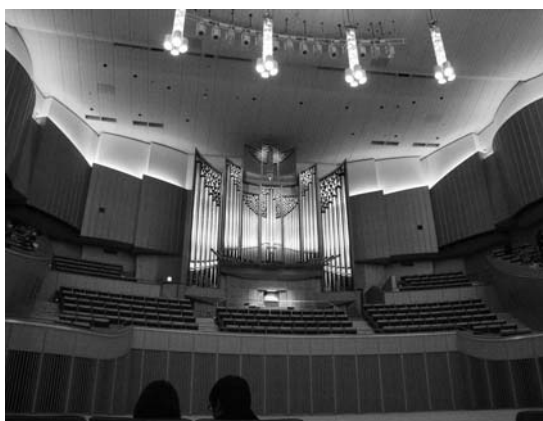
コツをつかむまで、手と足が一緒に出てしまいましたが、だんだん効果的な歩き方がわかり、ハツラツと歩く姿が見られました。健康づくりに有効と、ウォーキングを行っている方が多くなりましたが、これからはポールを持って行う方が多くなりそうです。

迫力あるパイプオルガン演奏に感激！ ～わくわく感動体験ツアー～

札幌コンサートホール Kitara 2月11日（金）

人づくり事業実行委員会主催で行われる、今回のわくわく感動体験ツアーは、参加者30名で「オルガンウインターコンサート」を鑑賞しました。

Kitaraの大ホール正面に設置されているオルガンは、4,976本ものパイプで構成され、凛とした美しさと堂々とした存在感があり、パイプの組み合わせによって独特な音色が奏でられます。コンサートは、専属オルガニスト2名による演奏で、連弾作品や即興演奏も行われ、参加者はもちろん、場内の観客を魅了しました。



我が家のオリジナルピザができました ～体験学習講座「親子でまちのお店から学ぼう」～

中央公民館 2月13日（日）



親子でピザを作りながら、地元の「おいしいもの」を再認識し、作り食べる喜びを感じてもらう講座を開きました。アドバイザーは味処いこいの高橋育子さん。

まずは子どもたちが、小さな手で小麦粉をこね、時々お母さんに代わりながら、つやつやの生地を作りました。

生地の発酵中に「我が家のピザ完成予想図」を描き、それをもとにトッピングしていきます。何種類も用意された平取産、道内産の具材選びに迷いながらも、4つの味の欲張りピザやハート型、カラフルな「キラキラピザ」など個性豊かに出来ました。

子どもたちは、焼き上がりが待ち遠しくて何度もオーブンを覗き込み、やっと試食の時間を迎えると、予想図とはちょっと違うピザもありましたが、味は格別で、親子で笑顔あふれるひとときを過ごしました。

教育委員会からのお知らせ

1年間の学習成果が発表されました ～平成22年度高齢者大学合同学園祭～

振内町民センター 2月18日（金）

振内高砂、貫気別明生、平取義経の高齢者三大学の第23回合同学園祭を、振内高砂大学が当番校となり開催しました。

年々、学生数が減少する中での開催に、芸能発表の演目数が心配されましたが、各大学からカラオケ、合唱、踊り、大正琴や寸劇と数多くの芸が披露され、場内から大きな笑いと拍手が沸き起っていました。

また、各クラブ活動で作成した手芸や書道等の作品も会場に展示され、来場者の目を楽しませていました。



3地区ミニバレーボール大会開催

町民体育館・振内青少年会館・貫気別町民センター 2月20日（日）

本町、振内、貫気別3地区で、ミニバレーボール大会が同日開催され、各地区で熱い戦いが繰り広げられました。



- 第17回本町地区スポーツ祭
幌尻杯 ミニバレーボール大会
15チーム 68人参加
【大会結果】 優勝 ビッグデス
- 第32回振内地区ビーチバレーボール大会
14チーム 72人参加
【大会結果】 優勝 12町内
- 第19回貫気別地区スポーツ祭2010
ミニバレーボール大会
14チーム 73人参加
【大会結果】 優勝 旭ヤング

小学生ドッジボール大会 ～本町地区こどもレクリエーション事業～

町民体育館 3月5日（土）

今大会は8チーム、約80人の参加により開催され、参加した子どもたちは、ドッジボールと仲間との交流を楽しんでいました。

各試合、激しい戦いが続きましたが、中でも2年生のみで編成されたチームが奮闘し、会場を盛り上げていました。

【大会結果】

- 1～3年生の部 優勝 デカワンコ
- 4～6年生の部 優勝 メガワンコ



オキクルミの伝承を地域一体で考える

オキクルミはその昔沙流川に降臨してこの土地に住み、アイヌの人たちに様々な生活の方法を教え、いつの日かまたカムイの世界に帰っていったと伝えられています。この地域に住む人たちはオキクルミが降臨した土地であることを大変誇りに思い、その考え方は近現代にも着実に受け継がれています。

そうした想いは、アイヌ口承文芸の中にいろいろな形で織り込まれています。町のアイヌ文化振興にとっても、物語世界・言い伝えの中でどのような内容や規則で語られるものであるかを理解することは非常に重要であるといえます。

今年の2月6日には「アイヌ伝承地を観る-沙流川流域の文化的景観めぐり-」と題する博物館公開セミナーを行いました。基調講演ではアイヌ口承文芸研究の第一人者でもある中川裕先生（千葉大学文学部教授）に「沙流川流域のアイヌ口承文芸」と題するお話を頂いています。

オキクルミが出てくるのは、基本的にカムイユカラ（神謡）の中であるとされています。その場合、主人公は雷神、カジキマグロ、キツネ、ウサギ、アオバトといった他のカムイたちで、そこにオキクルミはサマユンクルとともに登場します。ある時は良いカムイの言うことにオキクルミは従って幸福になり、サマユンクルは従わずにひどい目にあう。ある時は悪いカムイのためにサマユンクルがひどい目にあい、オキクルミがその悪いカムイを退治するといったストーリー展開があります。

道東や石狩地方に行くと、オキクルミはオキキリマ、サマユンクルはサマイエクルなどと変わり、関係も逆転してオキキリマがひどい目にあい、サマイエクルが良い役どころになります。

北海道にはサマイエクル信仰とオキクルミ信仰のふたつの流れがあり、それが融合してそれぞれの主神を上位に置く神謡のスタイルが出来上がったと考えられています。こうした内容検討からも、沙流川流域の主神がオキクルミである可能性が高いことが容易に伺えます。



博物館公開セミナーの様子



アイヌ語劇「子どもと遊んだ神」

1月22日の「アイヌ民族文化祭」と2月20日の「シリムカアイヌ文化祭」（ともに中央公民館で開催）では、二風谷アイヌ語教室によるアイヌ語劇「子どもと遊んだ神」の舞台発表が行われました。キナスツカムイ（ヘビ神）がオキクルミの子を地域の子どもたちに混ぜて遊んであげ、オキクルミとサマユンクルに感謝されて多くの土産をカムイの世界に持ち帰るというお話です。昭和36年に荷負本村で採録されて『カムイユカラと昔話』（萱野茂 1988）に収められている昔話です。受け継がれてきた地域ならではのオキクルミ伝承・世界観を分かりやすい劇という形で発信するという、老若男女が力を合わせて取り組んだ地域力の結集でもありました。

こうしたアイヌ伝統文化の今日的継承にかかる一つの蓄積は、沙流川らしい文化的景観（文化振興の姿）を形づくる上でも非常に大事な取り組みであり、地域ならではの特性として根付いているのです。

すこやかだより

—保健福祉課—

年に一度は検診を

受けてみませんか？

がん検診のすすめ

昨年統計では、死亡順位の第1位にがん、第2位に心疾患、第3位が脳血管疾患となっており、この順位は昭和60年から変わっていません。特に、がん年齢と言われる40代以降では、男女ともに死因の第1位を占めています。内訳では、胃・子宮がんは僅かながら減少傾向を示していますが、肺・大腸・乳がんについては増え続けています。昭和40年に北海道で、がんで亡くなる人は約5千人でしたが、現在は1万7千人程まで増えています。

がんの早期発見のために

私たちにとって非常に身近な病気となった『がん』ですが、今や不治の病とは言いがたくなっています。それは医学の進歩に伴い、完治させる事も可能になったからです。

そのためには、まず、早期の段階で発見する事が重要になります。そこで、注目して欲しい事が『がん検診』です。

がん検診では、自覚症状がない状態で、がんを発見する事ができますので、早期治療から完治への道をつなぐことができるのです。

しかし、近年、がん検診の受診率が低迷し、平取町でも同様の傾向を示しています。早期に発見すれば治るがんであっても、検診を受けずに進化した状態で見つかる、手遅れになってしまいます。ぜひ年に一度は、がん検診を受けて、ご自身の健康を確認しましょう。

平取町のがん検診

町では北海道対がん協会に委託し、胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺がんの6種類のがん検診を実施しています。

北海道対がん協会は昭和4年に設立され、北海道のがん対策の第一線として、検診の実施や啓蒙活動に長年取り組んでいる機関です。当町でも30年以上に渡り、各種がん検診を委託し、お互いに協力し合いながら、町民みなさんのがん予防のため、まい進しています。

また対がん協会のほかに、

厚生連や国保病院に委託し、各種がん検診を実施しています。

平成23年度の検診日程

【胃・肺・大腸がん検診】

◇ 5月7日(土)

ふれあいセンターびらとり

◇ 5月8日(日)

貫気別生活館

◇ 5月9日(月)

振内町民センター

※全日程とも、特定健診及び後期高齢者健診を同時に行いますので、合わせて受けることもできます。

【乳がん検診】

◇ 4月23日(土)

ふれあいセンターびらとり

【子宮がん検診】

◇ 10月12日(水)

ふれあいセンターびらとり

【乳・子宮がん検診】

◇ 5月10日(火)

札幌がん検診センター

※対がん協会の送迎バスを利用し、札幌で乳がん検診と子宮がん検診を同時に受けることができます。

このほか、11月の中旬には厚生連の巡回ドック、6月〜来年1月までは国保病院でも検診を行います。詳しい日程等につきましては「まちだより」をご覧ください。

新年度を迎え、新しい生活が始まります。この一年を健康にいきいきと過ごすためにも、春先の『がん検診』を受診されることをお勧めします。なお、ご不明な点は、お問合せください。

保健福祉課保健推進係

(54-6111)



図書館へいこう

☆開館時間

火～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

月曜日休み、月曜日が祝日の場合は月曜日と翌日が休みとなります

4月

日 月 火 水 木 金 土
 1 2
 3 ④ 5 6 7 8 9
 10 ⑪ 12 13 14 15 16
 17 ⑱ 19 20 21 22 23
 24 ⑳ 26 27 28 ㉑ 30

5月

日 月 火 水 木 金 土
 1 ② ③ ④ ⑤ 6 7
 8 ⑨ 10 11 12 13 14
 15 ⑯ 17 18 19 20 21
 22 ㉓ 24 25 26 27 28
 29 ㉔ 31

※□は休館日です。

It's New! 新しい本が入りました

ここに掲載されたもの以外にも、たくさんの本がありますので、お気軽に図書館（☎4-6666）までお問合せください。

あなたの一冊のお手伝いをします。

【小説・エッセイ】

『きことわ』／朝吹真理子

『苦役列車』／西村賢太

※第144回芥川賞受賞作。

『漂砂のうたう』／木内昇

※第144回直木賞受賞作。

『逮捕されるまで』／市橋達也

※外国人女性殺害容疑で指名手配を受けてから逮捕されるまでの2年7ヶ月の逃亡生活を、本人が振り返った手記。

『逃げる中高年、

欲望のない若者たち』／村上龍

『四十九日のレシピ』／伊吹有喜

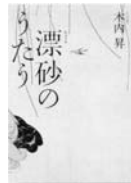
『警視庁F C』／今野敏

『村上春樹雑文集』／村上春樹

『ジョン・マン 波濤編』

／山本一カ

『ラストラン』／角野栄子



【家庭・生活・趣味】

『体温を上げて、免疫力を高める
食べあわせレシピ』／石原結實



【社会・経済・政治】

『33人チリ落盤事故の奇跡と真実』

／マヌエル・ピノ・トロ

『日本の農林水産業』

／八田達夫・高田眞



図書ワゴン（移動図書館車）

4月の運行日程

7日（木）【貫気別地区】

11:00～11:30 荷負 遠藤和江さん宅前

11:45～12:30 貫気別生活館

12:45～13:15 芽生生活改善センター

13:30～14:00 旭生活館

8日（金）【振内地区】

11:30～12:00 振内町民センター

12:00～12:30 山の駅ほろしり館

12:45～13:15 岩知志ふれあい館

13:45～14:15 豊糠生活改善センター

※利用者カードなしでも、その場で貸出します。

※本の返却や、不要になった本のご寄贈も受け付けています。ぜひお立ち寄りください。

図書館の資料が充実します！

このたび、国の地域活性化交付金（「住民生活に光をそそぐ交付金」）の交付対象となったことを受けて、図書館では、図書・DVD・CDの新規購入、AVライブラリーの改修等を行います。

このことにより、「ポプラディア」などの児童向け百科事典・一般向けの各種事典類・英語の絵本等の図書が質・量ともに充実し、DVD・CDについても、多様な内容の作品を幅広く取りそろえることで、より一層利用者の方のご希望にお応えできるようになります。

なお、AVライブラリーの改修に伴って、館内ブースでの視聴は、DVD・CDのみとなります。ビデオについては、貸出のみの扱いとなり、ご家庭での視聴という方法でご利用いただくこととなりますので、ご了承ください。



（新規購入した資料については、あらためてお知らせする予定です）



■ブーツホッケー大会 (2月13日 二風谷ファミリーランド)

楯の実俳句

目の前の島をも繋げ流水原
 急患の雪の夜道を直走^{ひた}
 目一杯広げかじる子恵方巻
 如月の仏間に響く僧の声
 春の雪重げに馬の帰房かな
 如月や北斗は杓をかたむける
 春隣静脈すける露天の湯
 孫包むぎょうぎ上出来春隣
 花屋にはすでに鮮やか春隣
 遠景に山あるが良し雪解風
 明日は市黒牛磨く春隣

柴田 紫梢
 内海アヤ子
 吉野千佳女
 遠藤 紫光
 石森 礼子
 井内 青風
 清水 眞子
 渡辺 正子
 中道 サト
 西塔しづえ
 山崎 喜峰

町の人口	人口	5,629	(▲1)
	男	2,712	(▲3)
	女	2,917	()
	世帯数	2,588	()
	外国人登録数	50	()

()内は前月比 2月末現在

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。